

# 選択と集中 改革を加速

## 若者が憧れる職場を創出

以上のような方針で県政を運営しています。スビード感を重視したおかげで、知事就任から約2年間で、多くのことに取組み始めたという自負があります。これまでの取り組みのトピックスを紹介していきます。

試験研究機関である茨城農産物技術イノベーションセンターには宇宙関連産業への参加を目指す企業の実験装置を整備するなど、県内の宇宙ビジネスの拡大を後押ししています。

それから、20万回、地域（G20）首脳会議貿易センターを開設し、流通経路を多様化していきま

農産物の流通の多様化にも取り組んでいます。価格決定権が全部市場に任せられていると、どうしても安く設定されてしまつていくことがあります。そこで、農水産物の新しいサービスを手がける事業者などと組むことで、流通経路を多様化していきま

茨城にはこれだけ大きな国際会議を開くホテルがなかなかありません。茨城の新しい食材を掘り起こして、自分たちで価格決定権を取り戻していくんです。

### 最大50億円

企業誘致では、工業団地の分譲価格の大幅な見直しを行うとともに、最大50億円という全国トップレベルの補助制度を創設し、本社機能や研究開発機能の誘致に力を入れました。これまでに約10社の誘致に成功しています。従来の工場（生産拠点）の誘致も重要ですが、東京の大学を卒業した人が茨城で仕事をしたいと思えるような、最先端研究を行う研究所や本社機能を誘致し、優秀な人材を引きつける職場をつくりたいと考えています。

また教育分野では、中高生を対象に英語力とプログラミング能力を磨いてもらおうと、英語がグロブアル化するこの時代の標準語です。海外でビジネスをする人だけに必要ないという意見もありますが、日本に外国人が増えた時、英語が使えるか使えないかで大きな差がつくはずなんです。

ITが急速に広がる中、プログラミングも重要で、教育や医療の分野を含め、あらゆるビジネスではITをいかに活用して差別化するかが問われる時代になります。プログラミングに素養のある人材が地域にどれだけ存在するかは、茨城県にとっても将来の企業誘致を大きく左右するポイントになるのではないかと感じています。

### 流通多様化

農業については、メカファームの育成に取り組みんでいます。農業では、利益にとにかくこだわってほしいと考えます。利幅を増やすには、販売単価を上げる、コストを削減する、販売数量を増やす、という三つの方法があります。これらの視点から行政での支援を行っています。例えばコスト削減については、今まで行政ではあまり関係がなかった、バラバラの農地を放つておいたわけですが、今は行政が不動産をベロベロのように自ら動いて集約化に向けた営業

一人の天才  
ある人に言われたことがあります。「教育は失敗できない」と。なぜそう言われるのか。それは、今までの教育では全員に同じことを公平にすることが重視されてきたからです。これからの時代に大事なことは、意欲のある人を選抜してその能力を育てることです。一人の天才、一人の突き抜けた才能が社会を変えてくれると思います。



知事の講演に真剣に耳を傾ける茨城産業人クラブ会員ら



「失敗を恐れず挑戦する姿勢が何より大事だ」と強調する大井川知事

## 突き抜けた才能、社会を改革

最後に、経営者の皆さんに「コメントを申し上げます。今日は本当にありがとうございました。今、日本は産業の非常に危うい状態になっています。私は思っています。例えば、高度成長期からバブルの時期までは、日本は非常に強い産業がありました。電機、電子、自動車などさまざまな産業が大きく成長してきました。しかし、現在は多くの業種で競争力が落ちてきています。日産、トヨタ、本田、ホンダ、これらがもう本業の一本足打法でなく、（積層造形）でつくることができる。技術を手がける企業との関係が話をしてきました。同社の技術では金型は不要になります。そういった新しい技術がどんどん進んでいます。私には今必要なこと

多様性を認め合う社会を実現するのには、先駆けてこの問題に取り組み、新しいことにどんどん挑戦する雰囲気をつくっていく必要があります。茨城に「新しい茨城」への挑戦を加速していきます。

## 技術革新でコスト競争脱却

最後に、経営者の皆さんに「コメントを申し上げます。今日は本当にありがとうございました。今、日本は産業の非常に危うい状態になっています。私は思っています。例えば、高度成長期からバブルの時期までは、日本は非常に強い産業がありました。電機、電子、自動車などさまざまな産業が大きく成長してきました。しかし、現在は多くの業種で競争力が落ちてきています。日産、トヨタ、本田、ホンダ、これらがもう本業の一本足打法でなく、（積層造形）でつくることができる。技術を手がける企業との関係が話をしてきました。同社の技術では金型は不要になります。そういった新しい技術がどんどん進んでいます。私には今必要なこと

最後に、経営者の皆さんに「コメントを申し上げます。今日は本当にありがとうございました。今、日本は産業の非常に危うい状態になっています。私は思っています。例えば、高度成長期からバブルの時期までは、日本は非常に強い産業がありました。電機、電子、自動車などさまざまな産業が大きく成長してきました。しかし、現在は多くの業種で競争力が落ちてきています。日産、トヨタ、本田、ホンダ、これらがもう本業の一本足打法でなく、（積層造形）でつくることができる。技術を手がける企業との関係が話をしてきました。同社の技術では金型は不要になります。そういった新しい技術がどんどん進んでいます。私には今必要なこと



講演会後に県内企業幹部らと意見交換する大井川知事（左）

## 時代を生き抜く確かなビジネスパートナー 異業種交流会でつかむビジネスチャンス！！

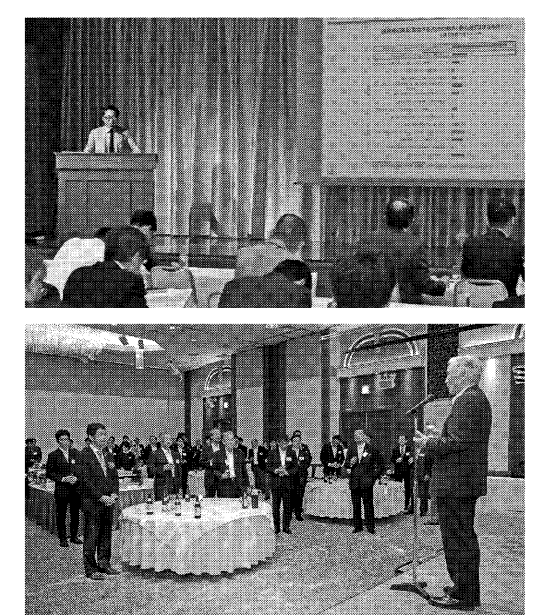


会長 高橋 日出男（協立製作所 社長）

### 入会のご案内

茨城産業人クラブは、茨城県下の企業経営者、産業人が集う異業種交流組織です。講演会や意見交換会、工場見学などの活動を通し会員相互の交流、経営者の資質向上、事業の拡大を図り、地域産業の振興に寄与することを目的に設立されました。さらに会員の輪を広げ、事業活動の活性化を図るため、明日の経営に挑戦する、清心な会員を広く募集しています。

皆様のご入会を心よりお待ちしております。



お問合せ先 茨城産業人クラブ 事務局

〒310-0015 茨城県水戸市宮町2-3-2 富士ビル8階 日刊工業新聞社 茨城支局内  
TEL.029-221-6400 FAX.029-221-6416



**新規設備のご相談、既存設備の改造、修理、メンテナンス等 圧延機の事なら弊社にお任せ下さい！**

大野ロール株式会社

〒319-2134 茨城県常陸大宮市工業団地5-9  
TEL 0295-53-5141 (代) FAX 0295-53-5050

**まったく新しい自動化テクノロジーの概念を創造する。**

今までの不可能を、「可能」へ。困難な手作業を、「自動化」へ。

〈グリス付Oリング用パーツフィーダー〉

- グリス、シリコンオイル等を塗布した状態での1個出しが可能。
- ホッパーには、大量投入(1,000~2,000個以上)が可能で、長時間の安定供給が可能。
- ホッパーは、残量が目視出来る透明ケースとなっている。
- 部品供給スピードは、60~100個/分と、高速使用も可能。
- ホッパー、1個分離部、直進フィーダーが一体化され非常にコンパクト。
- 対象のOリングは、φ3~30まで、3機種により様々なニーズに対応。
- 特許出願中。

株式会社 TMP

〒319-1234 茨城県日立市大和田町645番地

TEL.0294-52-6981(代) FAX.0294-52-3640  
E-mail: info@tmp-jp.com  
詳しくは▶http://www.tmp-jp.com/